

## 平成16年度事務事業評価表

担当	消防本部	通信指令課	内線等	99-3002
----	------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	火災救急通報（119）時の受付対応事業		
根拠法令等	消防法		A(法令)	B条例	C規則 Dその他 Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	消防、救急

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	各種災害に遭遇した市民に対して
手 段	消防救急総合指令台他の通信機器を利用して
想定する成果	災害地点の迅速、的確な情報収集、消防力の敏速な運用により市民の安全を確保する。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
年間119件数	2920件	2950件	—
救急件数	2609件	2622件	—
火災件数	55件	64件	—
間違いいたずら	138件	143件	—

### ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	誤報、間違い、いたずら電話率	1日あたりの119番受付件（テスト訓練除く）
成果指標の説明	誤報、間違い、いたずら電話件数/119受信件数×100	119番受付件数/年間件数

### ⑤事業の進捗状況

（一般会計）

（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	4.7%	4.8%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	8.0件	8.1件	—
事業費	事業費	2,097	2,097	2,097
	人件費	25,974	25,715	26,496
	(人数)	3.2	3.2	3.2
	合計	28,071	27,812	28,593
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	28,071	27,812	28,593

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	電話登録していない家庭については発信地表示できない。
経済効率性	3	3	平均的な耐用年数後も使用している。
事務効率性	1	2	機器の老朽化により他市町と比べ災害地点の特定に時間がかかるが、出動体制・指示方法により迅速化を図っている。
必要性	3	3	市民の健康安心を守るためには必要不可欠。
小計	9 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	機器の老朽化により、他市町と比べて災害地点の特定まで時間がかかるため、機器の更新が必要。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

長寿課の緊急通報装置の利用、補助員の研修努力により、災害地点特定までの時間の短縮に努めた。
---

⑧今後改善すべき点

現在使用している通信指令台が大幅に老朽化している。消防庁舎の移転、改築の問題、東三河全体での共同受信の問題も併せ検討し早期の設備更新を図りたい。
--

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

組織的に24時間専任担当で受付対応する人員が確保できない。
-------------------------------

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	消防本部	通信指令課	内線等	99-3004
----	------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	消防本部の代表電話交換業務事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Ⓔなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急

### ②事務事業の内容

対象(受益者)	消防本部(署)に用件のある人
手 段	通信指令室電話交換台を使い、入電の要件を各課、署に振り分けることにより
想定する成果	迅速で的確な消防業務遂行に資する。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
消防代表電話 交換件数	—	16年度3月実績 664件	17年度4月～7月実績 2,280件

### ④成果指標

成果指標名	平成16年度3月期1日平均受信数	平成17年度4月～7月31日期1日平均受信数
成果指標の説明	664件／31日	2,280件／122日

### ⑤事業の進捗状況

( 一般会計 )

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	—	21.4件	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	18.6件
事業費	事業費	986	911	909
	人件費	25,163	24,912	25,668
	(人数)	3.1	3.1	3.1
	合計	26,149	25,823	26,577
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	26,149	25,823	26,577

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	消防本部内のダイヤルインが市民に十分に伝わっていないので、今後の普及が期待される。
経済効率性	3	3	最新型の機器を導入し、十分な成果をあげている。
事務効率性	1	2	夜間における電話業務は消防署員が代替する等消防全体の中で人員配備をしている。
必要性	3	3	
小計	9 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	新消防庁舎建設時に広域共同受信を含め、機器の見直し整備を図っていく。
------	---	---	------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成16年8月に古くなった電話交換機を最新機種に変更し、事務能力の向上を図った。電話交換台の入替に伴い、各職員にPHS電話機を持たせ、事務の合理化を図った。

⑧今後改善すべき点

新消防庁舎建設後、消防署員との業務により事務効率を上げられるように、人員配備、業務内容等の検討を行っていく。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載